

疾患名

関節リウマチ・悪性関節リウマチ

病気について

関節リウマチ (rheumatoid arthritis : RA)

悪性関節リウマチ (malignant rheumatoid arthritis : MRA)

RAは慢性かつ進行性に経過する多関節炎を主症状とする自己免疫疾患で、全身性の炎症性疾患です。RAは様々な関節外症状を伴うことがあり、特に血管炎に基づく難治性の臨床病態を合併する場合、本邦ではMRAと呼んでいます。RAの症状には、朝のこわばりや手指、足趾、手関節などを中心とした関節痛が挙げられます。MRAの症状はRAによる多関節炎症状に加え、発熱、体重減少といった全身症状のほか、皮下結節、皮膚潰瘍、紫斑、目の強膜炎、多発単神経炎による手指、足趾の痺れ・麻痺、消化管出血などが挙げられます。間質性肺炎という血管炎に伴う特殊な肺病変が出現して進行することもあります。MRAのなかでも全身性の血管炎を伴い内臓を系統的に侵す病型は予後不良となることがあります。

治療について

RAの治療にはメトトレキサートを中心とした抗リウマチ薬を用い、治療目標未達成の場合は生物学的製剤、あるいはヤヌスキナーゼ (Janus kinase : JAK) 阻害剤の使用を考慮します。MRAの場合には症状に応じて副腎皮質ステロイド薬、免疫抑制薬を使用します。薬剤治療抵抗性の場合、アフェレシスの併用を考慮します。

アフェレシス療法の適用とその実施

保険適用：あり

アフェレシス療法の種類：血漿交換、二重濾過血漿分離交換、免疫吸着法、白血球吸着除去療法（注意：2020年3月より血球細胞除去用浄化器（セルソーバ）の販売が中止となっており、現在RA、MRAに対し同製品を用いた白血球除去療法は施行できません。）

回数：血漿交換、二重濾過血漿分離交換、免疫吸着法についてはMRAに対し、週1回を限度（病態の改善を認めるまで施行可能）として行います。